

国語 課題「話す・聞く」「書く」能力のカリキュラム

	1学期	2学期	3学期
小1	<p>単元名 たからもの おしえよう</p> <p>単元目標 姿勢や話し方に注意して、事物について分かりやすく話すことができる。</p> <p>指導の工夫 この時期の活動として、伝えたいことを二文程度でまとめて、宝物とその理由について話す。話し方は隣の席の児童と話すと、グループのみんなと話すとでは声の大きさや言葉遣いを変えるということに気付かせるようにする。また、話の聞き方の大変さを実感させ、学習経験として蓄積させる。</p>	<p>なつやすみの ことを はなそう</p> <p>経験の中からみんなに話したいことを選び、話の順序を考えながら、丁寧な言葉を使って話すことができる。</p> <p>夏休みの出来事から何を話すかを考えて選び、話の順序を考えながら、「です」「ます」など、丁寧な言葉を使って話せるようにする。また、聞き手が理解できるように大事なことは何かを考えて、順序を意識して話せるようにする。</p>	<p>これは、なんでしよう</p> <p>話題に沿って話し合い、分からないことを尋ねたり、それに答えたりすることができる。</p> <p>話し合いは、話し手と聞き手が交互に入れ替わりながら進めていく。問題とヒントについて話し合う。その際、ヒントとして必要な事柄を順序立てて問題を出すために、話し合った内容をどのようにノートに書く。</p>
小2	<p>単元名 じゅんぼんにらぼうともしんは どこかな</p> <p>単元目標 興味をもって、大事なことを落とさないで聞くことができる。話の内容に興味をもち、大事なことを聞き落とさないで、聞くことができる。</p> <p>指導の工夫 様々な基準で順番に並ぶ活動を通して、言葉の持つ伝達能力を再認識させたり、並ぶ方法についても創意工夫させたりする。迷子を探すという課題設定から相手の話を聞き落とさないように注意して聞く力、更にゲーム的な場面設定から興味をもって聞く力を育成する。</p>	<p>大事なものを、教えたい組み立てを考えて、はっぴょうしよう</p> <p>伝えたいことについて、必要な材料を集め、話す順序を考え、丁寧な言葉遣いで話すことができる。自分が考えた道具について相手に分かるように、話す事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどに気を付けて丁寧な言葉で話すことができる。</p> <p>発表する際に「一つ目は～、二つ目は～」というラベリングやナンバリングの手法を取り入れる。1学期に学習した大事なことを落とさずに聞く力を生かし、聞き手が質問するという場を設け、より積極的な聞く力を育成する。</p>	<p>みんなできめよう</p> <p>互いの話を注意して聞き合い、話題に沿って話し合うことができる。</p>
小3	<p>単元名 よく聞いて、じこしようかい よい聞き手になろう</p> <p>単元目標 相手によく分かるようにはっきり話したり、友達の話をよく聞いたりできる。話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりできる。</p> <p>指導の工夫 2年生までの学習の定着度を確認するとともに、「初め」「中」「終わり」の構成を意識できるようワークシートなどを使って話の組み立てを考えさせる。</p>	<p>つたえよう、楽しい学校生活</p> <p>互いの考えの共通点や相違点を整理し、司会や提案などの役割を果たしながら、話し合うことができる。</p> <p>声の大きさ、速さなどについて再度確かめ、発表メモには強調したいところ、間をとるところなどに必要に応じて印を付けて、繰り返し練習ができるようにする。</p>	<p>しりょうから分かる、小学生のこと</p> <p>相手を見て、大事な部分や言葉を強調したり、間の取り方に注意したりして話すことができる。</p> <p>指示語や接続語など筋道を立てて話すときに役立つ言葉を指導し、例文を示しながら適切に使えるようにする。</p>
小4	<p>単元名 ばらばら言葉を聞き取ろう よりよい話し合いしよう</p> <p>単元目標 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すことができる。司会や提案者などの役割を理解し、目的に向かって、互いの考えの共通点や相違点を考えながら話し合うことができる。</p> <p>指導の工夫 話し合いの目的や価値を押し、共感的に話し合いが進められるよう学習を展開する。これまでの自分たちの話し合いの仕方について録画し、振り返って改善点を挙げ、教科書のよりよい話し合いにするために工夫することと対応させて考えられるようにする。</p>	<p>だれもが関わり合えるように</p> <p>関心のあることなどから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモすることができる。相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方の工夫を考えて話すことができる。</p> <p>誰に何のために伝えるのかという目的をはっきりさせて課題を設定し、調べる方法についても教師が十分に準備を行う。また、調べたことの中から伝えたいことをはっきりさせるためにカードにメモを書く。児童の話し方のよさ、表現のよさはどんどん取り上げ、少ない場合は教師からも紹介をする。</p>	<p>聞き取りメモの工夫</p> <p>自分の目的と照らして、自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞くことができる。</p> <p>メモをとった経験から、自分にとって大事なことをメモすることや、自分に分かるようにメモを取ることが大事であることを押さえる。文字だけでなく記号を使ったり、省略して書いたりするなどの工夫を示し、話す方もメモに取りやすい話し方について考えて実践できるようにする。</p>
小5	<p>単元名 きいてきいてきいてみよう</p> <p>単元目標 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。</p> <p>指導の工夫 4年生までのインタビュー活動を振り返り、「話の意図を考えて」について課題意識を持たせる。</p>	<p>明日をつくるわたしたち「コラム」意見が対立したときには</p> <p>話題を決めて、収集した知識や情報を関連づけ互いの立場や意図をはっきりさせながら話し合うことができる。</p> <p>自分の考えがもてるように、複数の方法を用いて情報を集めさせる。役割分担して一人一人に資料を集めさせる。他のグループの発表を聞き、構成や言葉の工夫に気づかせる。</p>	<p>すいせんします</p> <p>考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連づけることができる。</p> <p>紹介との違いを確認し、目的や条件に応じて推薦するものを決めさせる。体験を思い出したり、調べたりして、推薦する理由をいくつか書き出した後、その中からより説得力のあるものを選ばせる。</p>
小6	<p>単元名 学級討論会をしよう「コラム」伝えにくいことを伝える</p> <p>単元目標 互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、質問をしたりして、討論することができる。</p> <p>指導の工夫 全員に否定肯定両方の立場から自分なりの理由を考えさせる。聞くグループにはメモをとらせて、質問や意見を述べさせる。</p>	<p>意見を聞き合って考えを深め、意見文を書く</p> <p>互いの考えの違いや意図をはっきりさせ計画的に話し合うことができる。</p> <p>「平和のとりにてを築く」を参考によりよい未来のために自分とれる行動を考えさせる。どんな未来にしたいか、その根拠となる情報を学校図書館やパソコンを利用させる。</p>	<p>今、私は、ぼくは「コラム」効果的な資料を提示する</p> <p>今思うことを伝えるために、必要な資料を準備し、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。</p> <p>卒業を前に今思うことを、これまでにお世話になった方々に伝えるという意識を持たせる。自分の思いが伝わるように構成を工夫させる。</p>
中1	<p>単元名 【スピーチ】聞き上手、話し上手になるために</p> <p>単元目標 話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどの効果を意識しながら話す。</p> <p>指導の工夫 発表会を行う際には、話すとき・聞くときに注意するポイントを明確にする。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙を使って評価を行う。スピーチについての活発な質問や主体的な取り組み姿勢が見られるように、感想や評価を述べ合う活動を行う。</p>	<p>【討論ゲーム】論理で論るか、感情に訴えるか</p> <p>説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話す。</p> <p>集団討論を行い、論理で迫る方法と感情に訴える方法とで、どのような違いやメリット・デメリットがあるかを確認する。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入を行い、評価する。</p>	<p>【グループ新聞】1年間の自分とクラスを振り返って</p> <p>取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりする。</p> <p>グループで一つの新聞を作るため、方向性を明確にしてまとめていく。取材した情報を集め、編集会議によって検討したり整理したりする。必要情報とそうでない情報を精査し、読者の興味関心をひく内容にしていける。相互評価用紙、感想用紙の記入を行い、評価する。</p>
中2	<p>単元名 【プレゼンテーション】資料や機器を効果的に活用する</p> <p>単元目標 話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して話す。</p> <p>指導の工夫 伝えたい内容を明確にし、様々な方法の中から最も効果的な方法で発表できるようにする。プレゼンテーションをするための材料を集め、目的に応じて整理し、資料を作る。目的や状況に応じて、資料や機器などを活用し分かりやすく説明する。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入、発表会の実施で評価する。</p>	<p>【パネルディスカッション】異なる立場や意見を尊重して</p> <p>決めた話題について、取材や調査などで情報を集めて整理する。</p> <p>パネルにまとめる方法についていくつか紹介し、グループで発表をさせる。発表会では、よかった点やアドバイスの意見などを述べる活動を行う。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入を行い、評価する。</p>	<p>【地域情報誌】ふるさとを見つめ直す</p> <p>目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げる。</p> <p>地域についての関心を高めるために、調べたいテーマについて図書館や資料館などで調査させる。書く内容によって、説明の仕方を考えて材料を集め、整理しながら書かせる。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入を行い、評価する。</p>
中3	<p>単元名 【ブックトーク】状況に応じて話す力を養う</p> <p>単元目標 状況に応じて話す力を養う。場や相手に応じて、話の内容を構成し、話し方を工夫する。</p> <p>指導の工夫 聞き取った内容や表現の仕方に着目させて、ブックトークを行う。話をしながらよいところなどのメモをとり、自分の考え方を深めたり、表現を生かしたりできるようにする。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入、発表会を行い、評価材料にする。</p>	<p>【ワールド・カフェ】聞いをもとに話し合う</p> <p>相手に応じてわかりやすい表現を使ったり、聞き手に問いかけたりしながら、その場の全員で理解を深めていくことができるように話す。</p> <p>相手に問いかけることを大切にしながら、互いの思いや考えを生かしながら話し合う。課題について深く考えたり、新しい価値を創造したりするような話し合いの場を作る。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入で評価していく。</p>	<p>【名言集】中学校生活を振り返って</p> <p>聞き取った内容を判断したり評価したりして、自分のものの見方や考え方を深める。</p> <p>中学生活のまとめとなるため、全体での発表会を行う。聞き取った内容を判断したり評価したりして、自分のものの見方や考え方を深められるようにする。課題について深く考えたり、新しい価値を創造したりするような話し合いの場を作る。ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入で評価していく。</p>

04 練馬区立中村中学校 課題改善カリキュラム(国語)

	1学期	2学期	3学期
小1	<p>単元名 おおきくなった</p> <p>単元目標 書くこととする題材に必要な事柄を集め、語と語の続き方に注意しながら、句読点を使って分を書くことができる。</p> <p>指導の工夫 日常生活の中からつくれる文を見つけて、主語と述語の関係に注意して書くことを学んでいる。この基本文型を応用して、観察の観点から主語した文を書く活動を行う。</p>	<p>いらいと 見せたいな</p> <p>書くこととする題材に必要な事柄を集め、書いた文章を読み返し、間違いを直しながら気をつけて書くことができる。</p> <p>句読点の打ち方は正しいか、字は正しく書けているか、書いた文章を読み返して確かめることを押さえる。読み返す中で、きちんと書けているかどうか点検し、できるだけ自分で直せるように習慣づけるようにする。</p>	<p>いいこと いっぱい 一年生</p> <p>経験したことから書く題材を決めて必要な事柄を集め、順序を考えながら書くことができる。</p> <p>言葉をつなげて非常に長い一文を作るのではなく、四、五文に分けて書かせる。例や引き出し線を取り出した要素を参照しながら、これまでに積み重ねてきた「書くこと」の力の定着を図る。</p>
小2	<p>単元名 今週のニュース・ていねいにかんさつして、きろくしよう・こんなもの、見つけたよ</p> <p>単元目標 友達に知らせるために、身近な出来事から書くことを決め、様子や気持ちを書くことができる。丁寧な観察し、気付いたことや分かったことを集めることができる。「初め」「中」「終わり」を意識して、自分の思いを集めることができる。書いたものを読みあい、感想を伝え合うことができる。</p> <p>指導の工夫 クラスの児童がまだ知らない事柄を選ばせたり、「みんな」が読むという意識で書かせる。観察する題材を自分が育てている野菜の苗を取り上げ、対象をしっかりと見る。毎日見る、一日に何度も見るという行為を通して、気付く観点を増やす。題材を集める際に、分かりやすいよう観点別の枠を設けたワークシートを用いる。</p>	<p>まとまりに分けて、お話を書こう おもちゃの作り方</p> <p>絵を見て想像したことから書くことを決め、「初め」「中」「終わり」のまとまりがある短い物語を書くことができる。説明の順番を考え、言葉のまとまりに気をつけて文章を書くことができる。順序を表す言葉を指導して、適切に使えるようにする。</p> <p>これまでに学習した文学作品教材を用い、「初め」「中」「終わり」に分かれていることを確かめる。3色の原稿用紙を用意し物語の展開に気をつけて書けるようにする。児童が生活科や図工科でこれまで作ったものを題材にすることで、書きやすくする。</p>	<p>見たこと、かんじたことできごとや気もちがつたわるように書こう</p> <p>経験したことから各題材を決め、教科書の例を参考に、短い詩を書くことができる。2年生の思い出の中から書くことを決め、書くこととする題材に必要な事柄を集めることができる。</p> <p>詩の個人読み、一斉読み、指名読み、交互読みなど様々な音読をさせ、それぞれの持つ特性をつかませる。書きたいと思った出来事があった学期や月ごとに3～4人程度のグループを作り、材料集めをさせる。</p>
小3	<p>単元名 気になる記号</p> <p>単元目標 報告するために必要な事柄を調べ、報告する文章の構成に沿って文章を書くことができる。</p> <p>指導の工夫 家庭にも呼びかけて取材活動を行い、観点に沿って記号を分析させていく。報告する文章の構成表を作り、それをもとに文章化させていく。</p>	<p>食べ物のひみつを教えます</p> <p>目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。</p> <p>物事の間を区切って取材活動を行い、観点に沿って記号を分析させていく。報告する文章の構成表を作り、それをもとに文章化させていく。</p>	<p>ことわざについて調べよう</p> <p>ことわざや故事成語の中から調べたいことを決め、必要な事柄について本や辞典を読んで調べることができる。</p> <p>興味をもったことわざを調べられるよう導入を工夫し、集めたことわざのうちどれを報告すればよいのか観点を示す。報告する文章の構成表を作り、それをもとに文章化させていく。</p>
小4	<p>単元名 新聞を作ろう 自分の考えをつたえるには</p> <p>単元目標 新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて、伝えたいことが明確になるように文章を書くことができる。段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を書くことができる。</p> <p>指導の工夫 自分が一番伝えたいことは何かを常に意識させ、敬体や常体についてや伝える内容によって文末表現を変えることも指導する。「初め」「中」「終わり」の構成で、それぞれ何を書くのか明確にし、構成カードや教科書の例を参考にしながら書くようにさせる。児童同士で読み合って推敲し、よりよい文章になるようにさせる。</p>	<p>「クラブ活動リポート」を作ろう</p> <p>書くこととする中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。</p> <p>伝えたい相手を明確にしてどんなことを伝えるリポートにするのかを考える。「初め」や「終わり」に書かれている内容を「中」で詳しく説明していることを押さえ、一つ目の内容と二つ目の内容で段落を変えることも指導する。文章を書く際には、特に初めの「問い」と終わりの「答え」が対応させること、引用したと自分の考えとを区別して書くことと気を付けて書くようにさせる。</p>	<p>わたしの研究レポート</p> <p>書くことを決めて必要な事柄を調べ、調べて分かったことを明確にして文章を書くことができる。</p> <p>図書資料等をそろえ、筆者の違う複数の本を読んで調べられるようにさせる。引用するときのルールや、必要なことを端的にまとめて書くことを指導する。文章を書く際には、特に初めの「問い」と終わりの「答え」が対応させること、引用したと自分の考えとを区別して書くことと気を付けて書くようにさせる。</p>
小5	<p>単元名 事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書くこと 次への一歩——活動報告書</p> <p>単元目標 文章全体の構成の効果や意図、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、表現の効果などについて工夫することができる。</p> <p>指導の工夫 見通しを持って学習に取り組めるように、学習の流れを教室内に掲示する。体験を思い出したり、調べたりして、推薦する理由をいくつか書き出した後、その中からより説得力のあるものを選ばせる。</p>	<p>考えを明確にして話し合い、提案する文章を書く。明日をつくるわたしたち</p> <p>自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書くことができる。</p> <p>提案書の特徴を踏まえて、構成メモを作成させる。担当した文章を、つなげながら気をつけてまとまりの文章に整えさせる。</p>	<p>六年生になったら</p> <p>考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を集めることができる。</p> <p>5年生やの1年間や、これまでの小学校生活を振り返らせた上で、6年生への期待や抱負に結びつけさせる。</p>
小6	<p>単元名 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう</p> <p>単元目標 パンフレットという様式の特徴を理解したうえで、集めた事柄を整理し、文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫することができる。</p> <p>指導の工夫 実際のパンフレットを集めさせ、そこに書いてある情報を読み取り整理させる。学校図書館やパソコンを利用して情報を集めさせる。</p>	<p>意見を書こう</p> <p>話し合いで深めた考えをもとに、構成を工夫して、自分の意見を明確に伝える文章を書くことができる。</p> <p>P98の例を参考にさせて、意見文の書き方や工夫を確認する。集めた情報や友達の考えなどを書き出して構成表をつくらせる。</p>	<p>忘れられない言葉</p> <p>経験から書くことを決め、そこから自分の考えや気持ちを掘り起こし、書く事柄を整理することができる。</p> <p>「ふわふわの雪」を例に随筆の書き方や特徴を理解させる。今までの生活を振り返り、忘れられない言葉とその言葉と出会ったときのことを書き出させる。</p>
中1	<p>単元名 【レポート】調べたことを整理して、わかりやすく</p> <p>単元目標 調べた材料を分類・整理、取捨選択し、根拠を明確にして書ける。</p> <p>指導の工夫 導入では、身のまわりのものや出来事の中から調べたいと思う事柄を選ばせ、生徒の興味関心をひきつける。表やグラフ、イラストなどを文面に合わせて効果的に用いたり読み手にわかりやすいということを例を用いて示し、全体発表後に分かりやすさの点を確認することで、今後のレポート活動への意欲付けをしていく。</p>	<p>【創作文】読みたくなるしくみを工夫する</p> <p>作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。</p> <p>「名探偵コナン」などを例に出して興味関心を引きつけながら、推理や対話の中で重要視すべきことを押さえる。この時期に行われる職場体験のお礼状を書く活動を行い、体験に結びつけた手紙になるよう指導する。最終的に筋道を立てて主張文を書けるように、文章構成のポイントを示すなどして指導していく。</p>	<p>【意見文】思いや感情に向き合い、考えを確かめながら</p> <p>伝えたい内容を正確に伝えるように根拠の明確さを意識して書くことができる。</p> <p>導入では、日常生活の中で「なるほど」と共感したり、「これは変だ」と違和感を覚えた体験についてグループ発表することによって、活動に興味をもたせる。意見文の組み立てでは、①体験②思い・感覚③事実④考え⑤意見の順番を示し、根拠を明確に書くことによって、説得力が高まることを実感させる。</p>
中2	<p>単元名 【手紙】読みたくなるしくみを工夫する</p> <p>単元目標 書いた文章を読み合い、互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げる。</p> <p>指導の工夫 「名探偵コナン」などを例に出して興味関心を引きつけながら、推理や対話の中で重要視すべきことを押さえる。この時期に行われる職場体験のお礼状を書く活動を行い、体験に結びつけた手紙になるよう指導する。最終的に筋道を立てて主張文を書けるように、文章構成のポイントを示すなどして指導していく。</p>	<p>【創作文】読みたくなるしくみを工夫する</p> <p>作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。</p> <p>「名探偵コナン」などを例に出して興味関心を引きつけながら、推理や対話の中で重要視すべきことを押さえる。この時期に行われる職場体験のお礼状を書く活動を行い、体験に結びつけた手紙になるよう指導する。最終的に筋道を立てて主張文を書けるように、文章構成のポイントを示すなどして指導していく。</p>	<p>【手紙】わかりやすく、心をこめて書く</p> <p>自分の立場と伝えたい事柄を明確にして、手紙の形式を踏まえながら構成を工夫して書く。</p> <p>目的に合わせた様々な手紙の種類や、「挨拶」「敬具」などの形式を示し、言葉を選んで書くことを心がけさせる。この時期に行われる職場体験のお礼状を書く活動を行い、体験に結びつけた手紙になるよう指導する。最終的に筋道を立てて主張文を書けるように、文章構成のポイントを示すなどして指導していく。</p>
中3	<p>単元名 【小論文】論理の展開を工夫して、説得力のある文章を書く。</p> <p>単元目標 論理の展開や自分の仕方を工夫して、説得力のある文章を書く。</p> <p>指導の工夫 テーマは自分独自の「友情論」である。書くときには、友情や人間関係に関する著名人の言葉を手がかりに、その一部分を引用させる。1・2年生に学んだ文章構成のポイントを改めて示し、書くことが苦手な生徒でも、構成の仕方を身につければ400字はあという間に書けるということを実感させる。</p>	<p>【批評文】観察や分析をとおして、判断する</p> <p>取材や分析をとおして課題に対する自分の立場や考えを定め、論理展開が明確な文章構成を工夫して書く。</p> <p>中学生活3年間の集大成として、過去・現在・未来の自分を想像し、それぞれの自分を漢字一語で表現させる。全体に向けての発表では、発表者の人格にじみ出るような、思いや願いが込められた漢字の発表となるだろう。そのため、漢字一語から想像力を無限に広げられるように、BGMなどを流し、雰囲気をつくって発表させる。</p>	<p>【漢字を味わう】漢字一語で表現すると</p> <p>書かれたものに表れたそれぞれの個性を味わいながら、ものの見方や考え方を深める。</p>